CuCl QDs 班 <実験報告>

2019.8.10(Mon)

**◎ ２軸スキャンPL測定**

　複数のNaCl結晶中のCuCl量子ドットの発光のスキャン測定を行った。試料に照射されるビームの断面は横長の楕円状で、横幅が260 m、縦幅が210 mであるため、スキャンの際は、横方向は300m間隔、縦方向は250m間隔で測定を行った。以下のTab. 1にそれぞれの試料寸法を示す。

Tab. 1それぞれの試料の寸法.



以下のFig. 1~Fig. 4にそれぞれの試料のスキャンPL測定の結果を示す。



Fig. 1 試料1の発光強度(左)とピークエネルギー(右)の位置依存性.



Fig. 2 試料2の発光強度(左)とピークエネルギー(右)の位置依存性.



Fig. 3 試料3の発光強度(左)とピークエネルギー(右)の位置依存性.



Fig. 4 試料4の発光強度(左)とピークエネルギー(右)の位置依存性.

各試料において、位置ごとの発光強度とピークエネルギーの間に相関関係はみられなかった。また、発光強度の位置ごとの変化に比べ、ピークエネルギーの位置ごとの変化は、高々0.06 eV程度と小さいものだった。